

『中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会ワーキング』  
議事要旨

1. 日時：平成30年2月28日（水）14：00～15：40
2. 場所：姫路総合庁舎 福利センター 3階大会議室
- 3 議事
  - 1) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱の改正について
  - 2) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画のフォローアップについて
  - 3) 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画の見直しについて
    - (1) 水防災意識社会再構築
    - (2) 八家川のモデル地区の追加について
    - (3) 河川中上流治水対策
    - (4) 効果検証について
    - (5) 防災気象情報の改善について
    - (6) 要配慮者利用施設数及び計画策定状況について
- 4 出席者 31名（ワーキング構成員）
- 5 配布資料一覧
  - ・資料－1 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱
  - ・資料－2 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画フォローアップシート
  - ・資料－3 水防災意識社会再構築について
  - ・資料－4 八家川 モデル地区追加について
  - ・資料－5 越知川 河川中上流治水対策について
  - ・資料－6 効果検証
  - ・資料－7 今年度実施した防災気象情報の改善について
  - ・資料－8 地域防災計画に定められた要配慮者利用施設数及び計画作成状況
  - ・資料－9 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画の見直しについて
  - ・資料－10 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画（案）

【参考資料】

- ・中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画【概要版】

## 【議事内容】

- 1 設置要綱の改正について（資料－1を用いて事務局より説明）
- 2 フォローアップについて（資料－2を用いて事務局より説明）
- 3 中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画の見直しについて
  - 3－1 水防災意識社会再構築について（資料－3, 9, 10を用いて事務局より説明）
  - 3－2 八家川のモデル地区の追加について（資料－4を用いて姫路市より説明）
  - 3－3 河川中上流治水対策について（資料－5を用いて福崎事業所より説明）
  - 3－4 効果検証について（資料－6を用いて事務局より説明）
  - 3－5 防災気象情報の改善について（資料－7の内容については、協議会において当日に神戸地方気象台より説明が有る旨を事務局より連絡）
  - 3－6 要配慮者利用施設数及び計画策定状況について（資料－8の内容については、協議会において当日に近畿地方整備局より説明が有る旨を事務局より連絡）
- 5 取組みに対する意見等

凡例 ●（黒字）：構成員の意見・回答、○（赤字）：事務局の意見・回答

## 【県民構成員】

●夢前川の嵩上げ対策箇所近隣に住居しています。嵩上げにより、洪水時に道路冠水が解消され、感謝しております。

●越知川の改修が平成29年度、平成30年度に計画されていますが、図面を見せて頂くと、護岸整備を予定されています。護岸の整備にあたっては周辺景観に配慮したものとしたい。

○景観にも配慮し、色調に落ち着いたあるポーラス護岸で整備予定です。

●平成29年8月18日の豪雨は時間雨量101mm/hr、日雨量で217mm/dayと猛烈な集中豪雨でした。未明の出来事でしたが、岡部川が氾濫し、周辺は海のような became。町からは避難指示の発令もなかったが、自己の判断で公民館を避難所として開設し、防災無線で連絡を行いました。夜が明けてから地域のパトロールをしたところ、家屋の被害はなかったが、どこが道路でどこが田んぼか皆目わからない状況であった。

翌9月17日台風18号の際には町からの避難勧告も発令されていた。とにかく、岡部川は狭い川でありますので、こういう雨が降ると、すぐにあふれてしまいます。そういう点を踏まえて、河床掘削や樹木の伐採等をご検討いただきたい。

○夜中、未明、土日など役所が閉まっているときの避難に関する情報や避難所開設等の対応が課題となっている。

## 【行政構成員】

●想定最大規模の浸水想定区域図の作成スケジュールを再度、確認させていただきたい。

○市川については今年度に公表予定です。夢前川、船場川については着手中です。兵

庫県では平成 30 年度以降、全管理河川において想定最大規模の浸水想定区域図を順次作成することとしています。

- 市川の想定最大規模の浸水想定区域図が公表され、支川の浸水想定区域図の公表の時期がズレた場合、防災マップの作成はどのようにしたらよいか。他の市町ではどのように対応をするのかご教示いただきたい。
- 想定最大規模の浸水想定区域図が公表については、水位周知河川では法的義務があるため、先行作成しています。その他の河川については予算の関係もありますので、全河川を同時公表するというのは難しいと考えていますが、姫路土木事務所の管理河川の多くは平成 30 年度に公表できるかなと考えています。
- 姫路市さんでは、国土交通省の揖保川の想定最大規模の浸水想定区域図が先行して公表され、その後、市川、夢前川等が出そろった後、検討すると伺っていたと記憶していますが、いかがでしょうか。
- どういった形で防災マップを作成していくか、今後検討していきたいと思っています。
- 想定最大規模の浸水想定区域では、現在指定されている避難所や役所のほとんどが浸水の懸念があり、その対応を県・市町が広域的な連携等を検討していけたらと思いますが、いかがでしょうか。
- 先日提供いただいた想定最大規模の浸水想定区域図（案）ではかなり広いエリアまでの浸水が想定されており、現在指定している避難所のほとんどが浸水することになりそうである。その結果を住民にどう伝えるかを含めて、現時点では、町としてどう対応するか検討方針が定まっていない。
- 時期を改めて相談させていただきたいと思う。